

第 2 2 3 号

連携室だより



公益財団法人
北海道医療団

帯広第一病院



帯広第一病院理念・基本方針

【理念】

地域に信頼される病院を目指し、質の高い、思いやりのある医療サービスを提供する。

【基本方針】

- 1 患者の皆様の安全と権利を守ります。
- 2 地域医療機関との連携を推進します。
- 3 救急医療の充実に努めます。
- 4 研修や教育を積極的に行います。
- 5 働きがいのある職場を作ります。



撮影者：音更病院 看護部 高田 徳恵

今号の内容

- ・令和5年度救急センター実績報告 救急センター長 土屋 朗之
- ・令和5年度化学療法センター実績報告 化学療法センター長 田山 穂高 (2)
- ・令和5年度健康管理センター実績報告 健康管理センター 保健師長 柴田 加奈江 (3)
- ・Pink Ribbon Campaign 2024 開催ご案内 健康管理センター 保健師 栗田 満美 (4)

令和5年度救急センター実績報告

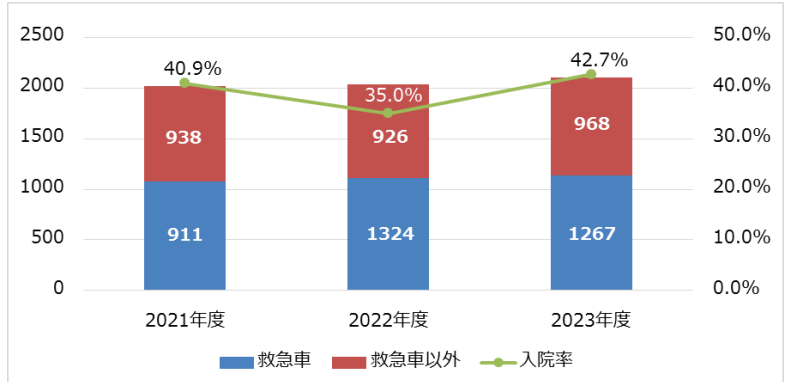
救急センター長 土屋 朗之



帯広第一病院の救急センターは、緊急を要する状況に際して最善の医療ケアを提供するために日夜努めています。

今年の救急受入件数は2235件、うち救急車受入件数が1267件、入院件数が955件であり、特に腹部救急においては当院の強みを発揮しています。当番医師だけでなく、各医療スタッフが迅速に対応し、患者様の健康を守ることに全力を尽くしています。私たちの使命は、緊急の際にはいかなる状況にも迅速かつ丁寧に対応し、患者様の安全と健康を最優先にすることです。

帯広第一病院の救急センターは、地域の皆さまの信頼に応えるべく、安心できる医療を提供して参りますので、今後ともよろしくお願ひ致します。



令和5年度化学療法センター実績報告

化学療法センター長 田山 穂高



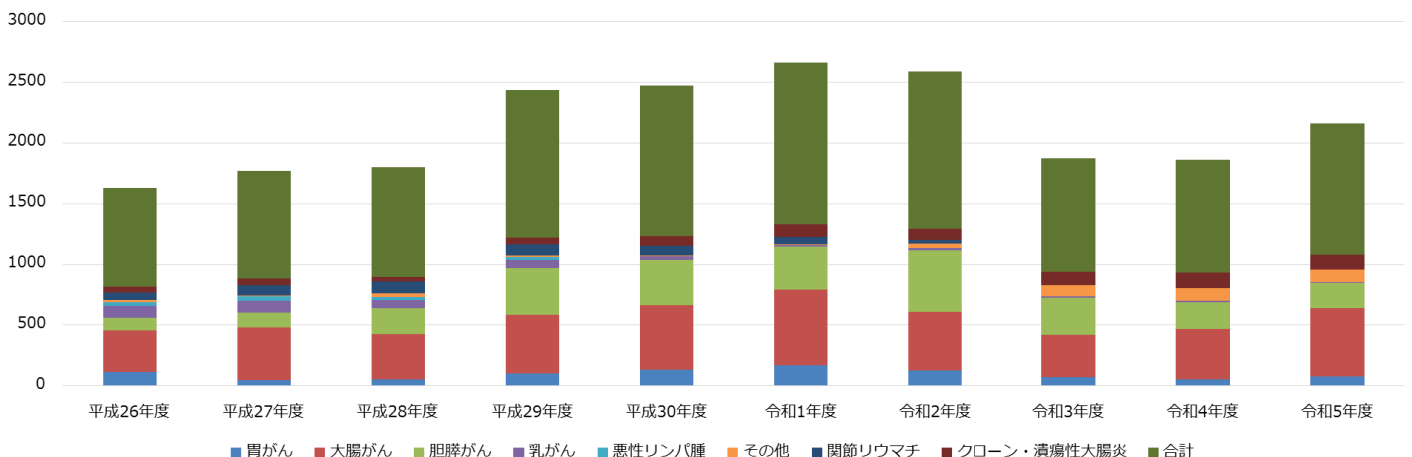
十勝地域の先生方には、日頃より大変お世話になっております。令和4年10月より化学療法センター長を務めさせていただいております。

今回は当院化学療法センターにおける令和5年度の化学療法施行状況につきまして報告させていただきます。令和5年度の化学療法の施行数は全体で1080件となっています。新型コロナウイルスの影響も少なくなり、徐々に施行数が増えています。化学療法の内訳は胃癌：81件、大腸癌：557件、胆膵癌：208件、IBD関連：120件、乳癌：7件、その他：107件となっております。

当院は胃癌や大腸癌、肝胆膵癌にとどまらずクローン病、潰瘍性大腸炎などのIBD疾患についても専門知識を有する医師が在籍し、積極的な加療が行われております。近年、免疫チェックポイント阻害薬など化学療法の発達により、今までは手術適応外だった患者さんでも、根治切除が可能になった例もあります。

近隣の先生方におかれましては、治療が必要な担癌患者様がいらっしゃいましたら是非ご紹介を頂きたいと考えております。今後とも何卒よろしくお願ひ申し上げます。

化学療法センター利用状況



令和5年度健康管理センター実績報告

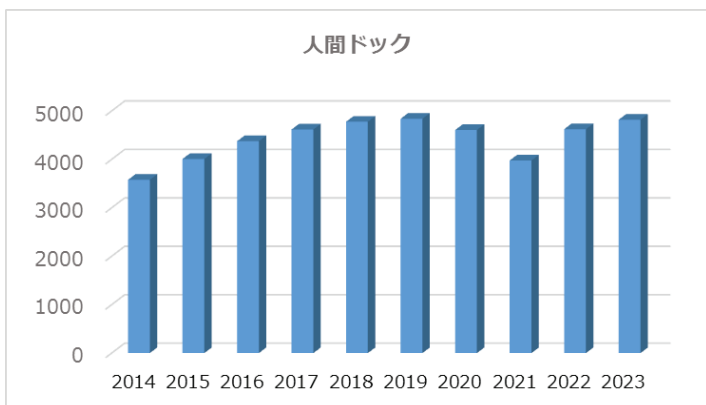
健康管理センター 保健師長 柴田 加奈江

地域の皆様にはいつも大変お世話になっております。

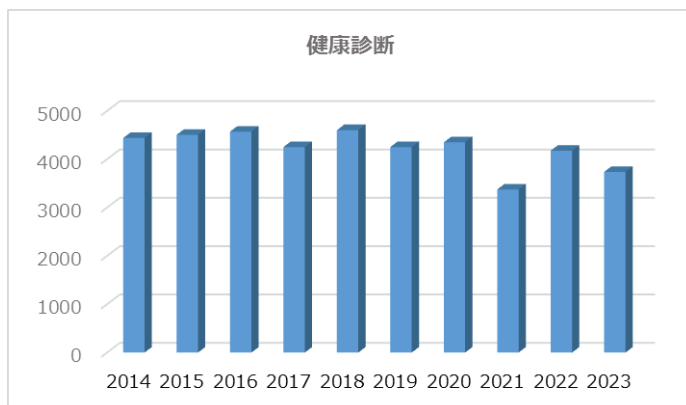
令和5年度の実績報告をさせていただきます。おかげさまで人間ドックは令和1年度以降に引き続き令和5年度は4800人を超えることができました。また、乳がん検診や子宮がん検診、胃カメラも徐々に受診者が増加傾向にあります。

当センターでは引き続き地域の皆様が受けやすい健康管理センターでありますようスタッフ一同精進していきたいと思っております。またスタッフ一同心よりお待ちしております。

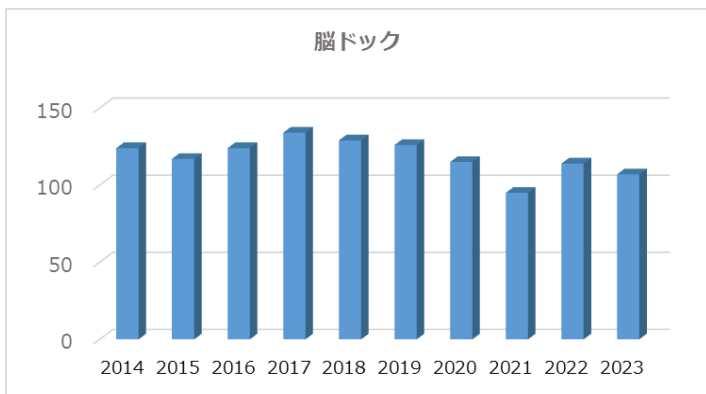
1.人間ドック受診者数：4819名



2.健康診断受診者数：3737名



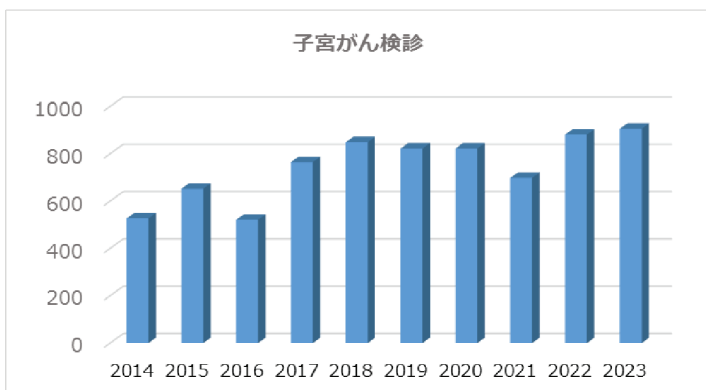
3.脳ドック受診者数：107人



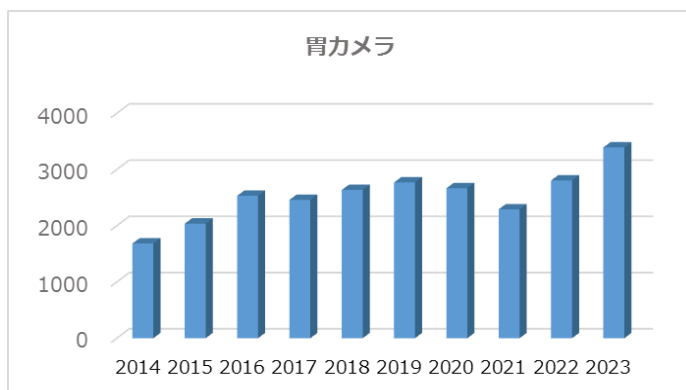
4.乳がん検診受診者数：1475名



5.子宮がん検診受診者数：906名



6.胃カメラ受診者数：3392名



Pink Ribbon Campaign 2024 開催ご案内

健康管理センター 保健師 栗田 満美



地域の先生方、各市町村保健師の方々には、平素より大変お世話になっております。

当院のピンクリボンキャンペーンは2009年より始まり、今年で16年目を迎えることができました。一生涯に乳がんを患う日本人女性は、9人に1人（国立研究開発法人国立がん研究センター2019年データに基づく）と言われています。乳がんで亡くなる日本人女性は年間約1万6千人であり、日本人女性の30～64歳では、乳がんが死亡原因のトップとなっています。しかし、乳がんは早い段階から自分で発見することが可能であり、早期発見ができれば、がんの中では治る率が高いがんに入っています。そのため、自己検診の実践と定期的な検診を受けて、早期発見の機会を失わないようにすることが重要です。

毎年10月のピンクリボン月間にあわせ、当院においてもキャンペーンを開催し、地域の皆様の健康にお役立ていただけるよう、ご案内申し上げます。

キャンペーン内容

●特別料金による乳がん検診の実施

開催日 10月1日（火）～10月31日（木）平日のみ

料金 マンモグラフィ検査1方向・・・・・・・・・・税込 3,600円

マンモグラフィ検査2方向・・・・・・・・・・税込 5,100円

乳腺超音波検査・・・・・・・・・・税込 3,600円

※無料クーポン券の利用、各種助成制度の利用ができます。



●金曜夜間検診の実施

開催日時 10月4日（金） 17：00～19：00

※定員になり次第、予約受付を締め切らせていただきます。

●日曜検診の実施

開催日時 10月6日（日） 8：30～12：30

※定員になり次第、予約受付を締め切らせていただきます。

◇乳がん検診は、各曜日人数制限があり、事前予約が必要です。お早めにお問い合わせ、ご予約下さい。

お申込・お問い合わせ先 帯広第一病院 健康推進室 TEL 0155-25-3121
(受付時間 9：30～16：30 土日祝日除く)

発行 公益財団法人北海道医療団 帯広第一病院 地域医療連携室
〒080-0014 帯広市西4条南15丁目17番地3
TEL 0155-25-3121 (病院代表) / 0120-558-091 (連携室直通)
FAX 0155-27-0248 (連携室専用) e-mail renkei@zhi.or.jp

